

漁海況月報

平成27年6月9日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況予測

(1) 現況

6月8日の人工衛星画像によると、黒潮は潮岬に接岸して東進し、八丈島の南を通り、北緯32度付近まで南下した後、東経141度付近を北上しています。

野島崎沖で暖水が波及していますが、渥美外海には達していない模様です。黒潮は八丈島の北を通るD型から、一時的に八丈島の南を通るC型となっている模様です。

(2) 予想

今後、八丈島東方の冷水渦は分離し、野島崎沖を流れるN型に移行し、渥美外海沿岸の流れは上り潮（西向き）基調で推移するものと予測されます。

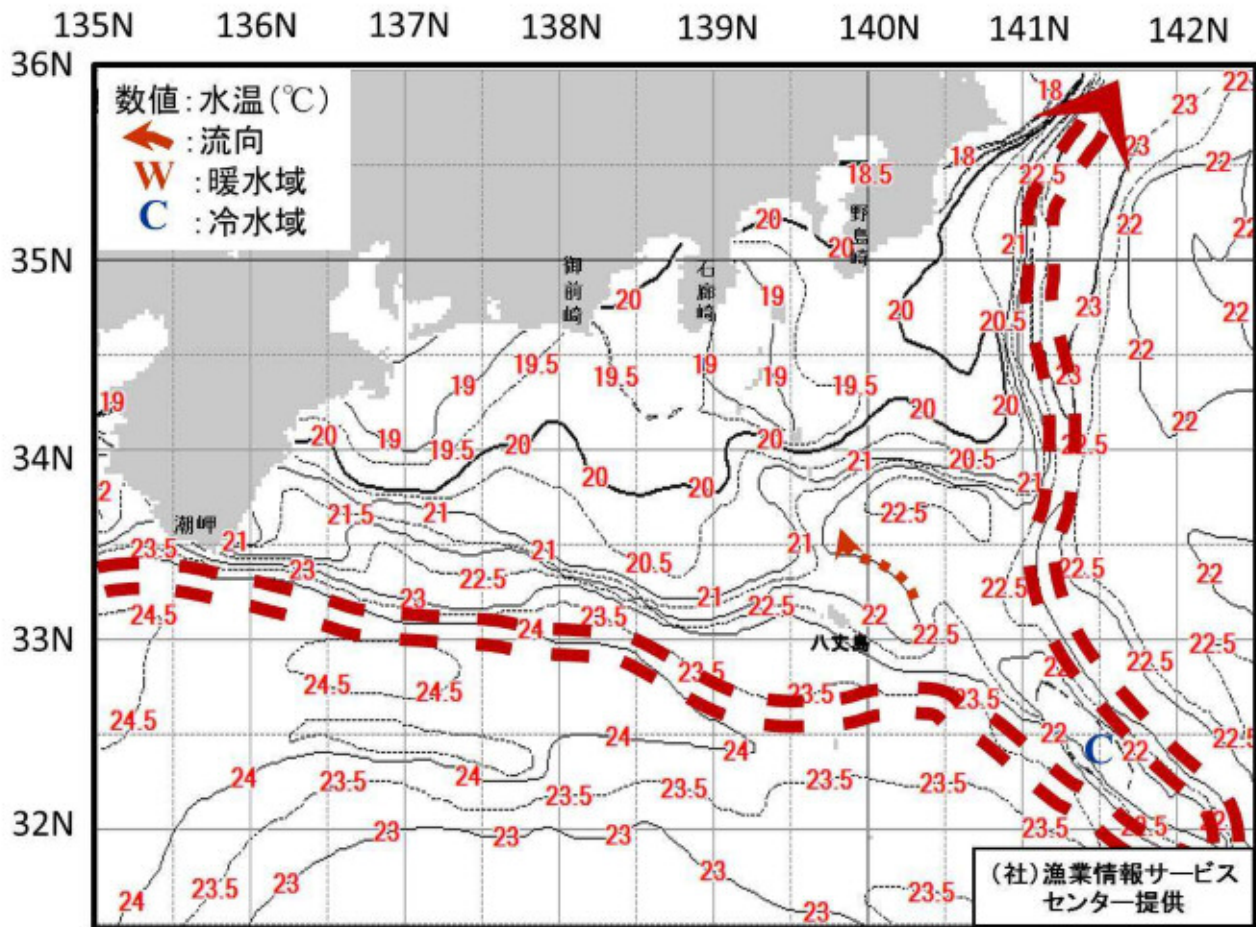


図1 海況の現況[2015年6月8日]

2 イカナゴ

5月27日に外海のデヤマ海域において、イカナゴ夏眠魚の調査（空釣り）を実施しました。

調査海域の底層水温は17.9℃でした。

夏眠魚の数は、例年に比べると少ない状況でした。

0歳魚、1歳魚の平均体長は、昨年同時期と比べて大きくなっていました。

年齢の割合は、今年の親であった1歳魚以上が12%、今年生まれの0歳魚が88%となっていました。

次回は、夏眠がほぼ完了すると考えられる6月中旬以降に調査を予定しています。

表1 空釣り調査結果（愛知水試）

	イカナゴ夏眠魚 採集量（尾/km）									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
2005	103		1,710							
2006				2,535						
2007		1,128	2,180		1,682		1,039		544	
2008	77	45	49			121		68	30	
2009		435	438				740		501	
2010		792	3,306				1,333		1,589	
2011		964	2,910				425		518	
2012	230	378		1,721			1,869		1,324	
2013	462	1,268	2,597						1,690	
2014	146	1,670	(659)* ¹	110			49		116	
2015	119 * ²	61								

* 1 2014年6月は三重水研の調査結果

* 2 2015年4月の調査日は、5月1日

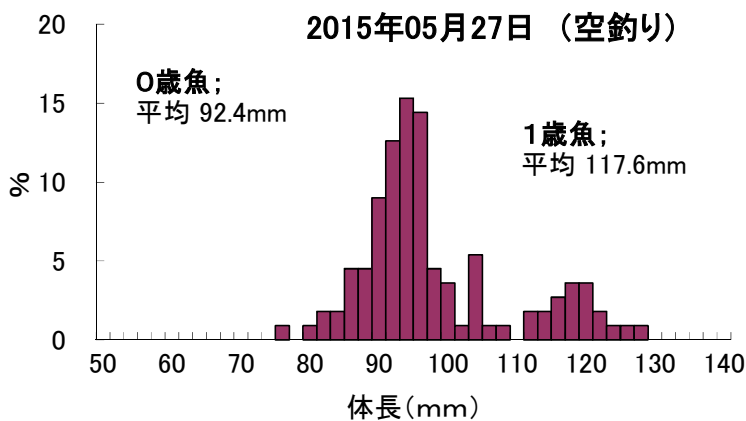


図2 今回の調査結果
（夏眠魚の体長組成）

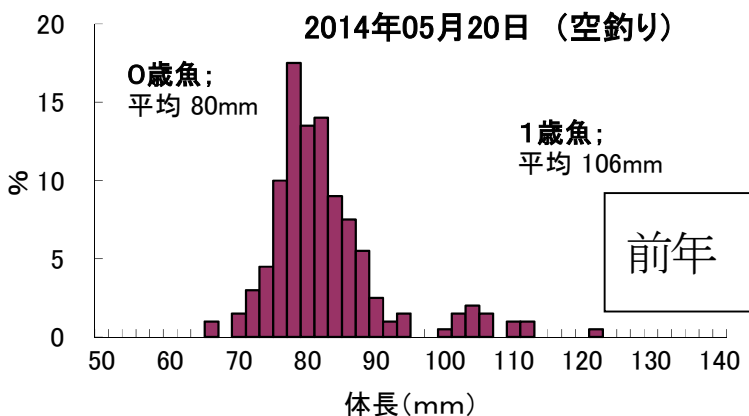


図3 前年同時期の調査結果

3 イワシ類

今期も渥美外海への暖水波及が断続的にあり、シラス来遊が断続的にありました。このため、県内の船びき網漁業では、外海を中心に操業が続いています。

また、資源保護のため5月12日まで自主規制していた伊勢湾については、13日に解禁し、解禁初日は、1日1カ統あたり100カゴを超える水準となっていました。その後も、80～100カゴの高水準で推移していました。

春季に湾内へ来遊するシラス（カタクチシラス、マイワシシラス）は、その後の成長を通じて、本県におけるその年のイワシ漁業に大きな影響を及ぼします。今回の内湾での操業状況をみると、船びき網漁業者がイカナゴを保護するため設置している禁漁区（伊勢湾・三河湾全域）は、これらイワシ類の春季来遊群の保護にも相当効果があったものと考えられます。

(1) シラス

5月の県内漁獲量は約3,255トンで、同じ時期としては、昨年を上回り、平年を大きく超える水準となっています。

漁場は上旬まで外海で操業を行っていましたが、5月13月中旬に内湾が解禁されると日1カ統あたり100カゴを超える水準となり、その後も80～100カゴの高水準で推移していました。魚体サイズの大型化にともない、外海での操業が再開されても100カゴを超える水準の漁獲が続いていました。単価もカゴ（約20kg）あたり月平均で9,375円となり、昨年同月（5,665円）を上回っています。

このため、5月の水揚げ高は、近年にない好漁となりました。6月上旬現在も、順調な水揚げが続いています。

なお、資源保護のため実施している操業時間の短縮（3時間）は、現在も継続されています。

表2 愛知県シラス類漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	7	440	753	256	220	782	1642	365	39	4,503
2011	1	0	0	169	583	1,168	1,219	517	677	547	478	279	5,637
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255								4,241
10年平均	5	0	7	409	1,357	971	644	654	647	676	381	147	5,900

外海におけるカタクチイワシの卵は、6月上旬の調査では再び増加していました。静岡県沖のシラス漁も漁獲が続いていること、下旬の漁獲サンプルには小型のシラスが見られたことから、今後、黒潮の流路のN型への移行にともない、黒潮内側域の産卵群の加入や生産性の高い状況（植物プランクトンが多い）が継続することが期待されます。

(2) マイワシ

県内では、3月以降マイワシのまとまった漁獲はありません。

シラスの来遊量が比較的豊富なため、引き続き操業はシラス漁となっていました。

5月に漁獲されたシラスは、カタクチシラスを主体として、マイワシシラスやウルメシラスの混入がみられます。混入割合は、マイワシシラスが3~20%、ウルメシラスが0~6%でした。

マイワシシラスの混入率は、4月よりも低下していますが、湾内の漁獲サンプルでも一定量の混入があること、ヒラゴサイズが認められることから、夏秋季のマイワシ漁が期待されます。

表3 愛知県マイワシ漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	0	2	288	653	675	247	17	0	1,881
2011	0	0	1	0	2	29	361	1,223	1,091	264	68	4	3,044
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0								154
10年平均	0	1	0	0	1	32	167	568	423	165	72	24	1,006

(3) カタクチイワシ (成魚・未成魚)

5月の県内におけるカタクチイワシの水揚げはありませんでした。

シラスの来遊量が比較的豊富なため、引き続き操業はシラス漁となっていました。

カタクチシラスは、内湾への来遊群が禁漁措置により保護されていたこと、引き続きシラスの漁獲が好調なことから、今後、これらが成長することにより、夏秋季にはカタクチイワシ未成魚として漁獲対象に加わっていくことが期待されます。

表4 愛知県カタクチイワシ漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	1	1,529	4,844	4,819	1,775	590	1,497	973	16,028
2011	37	92	116	561	768	1,945	3,610	4,935	572	159	294	401	13,491
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0								588
10年平均	61	25	12	214	738	1,861	3,926	4,091	2,398	1,526	1,312	737	16,899